

鉾田市鉾田商工会青年部会報



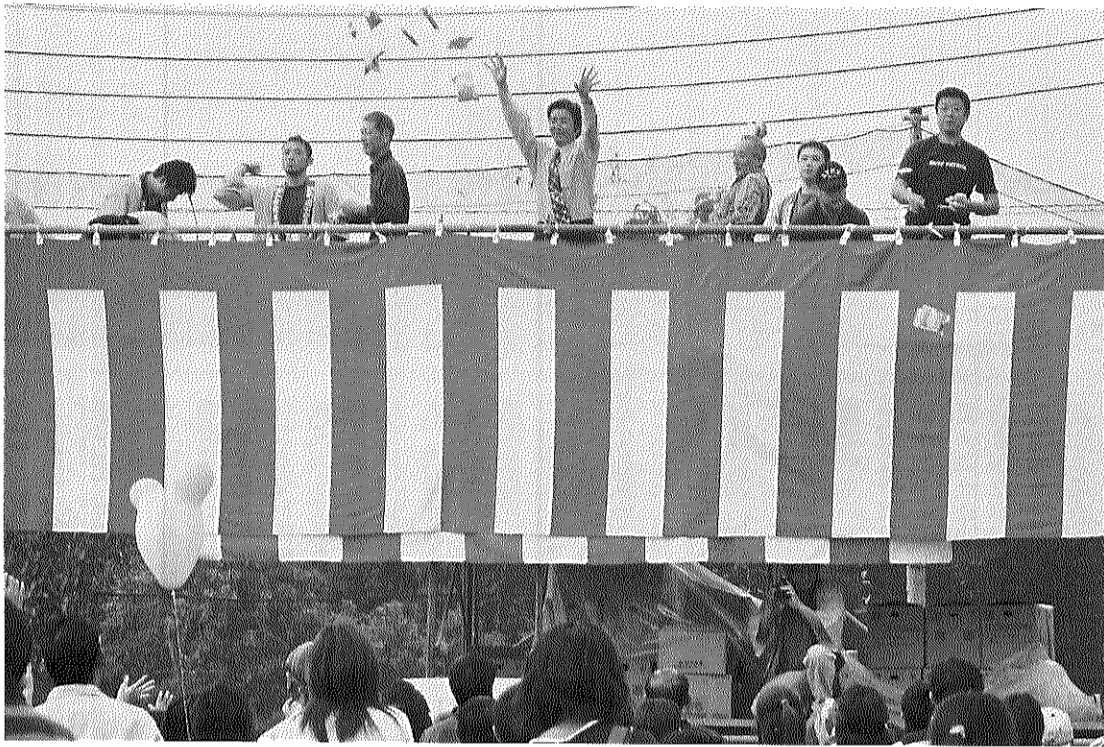
Enjoy 青年部 (微明)

No.29 平成 20 年度版

発行日 平成 21 年 3 月 31 日
編集 鉾田市鉾田商工会青年部
広報委員会
発行者 鉾田市鉾田商工会青年部
部長 川崎 孝康
鉾田市鉾田 2482-1
TEL 0291-32-2246

Contents (目次)

- P1. 商工祭・発刊にあたり
P2. 親睦旅行・全国大会・事業一覧
P3. 市長との懇談会・ほこたマラソン
NEW YEAR パーティ・野球
P4. 卒業生・新入部員紹介



第十二回 商工祭

屋台村

去る平成二十年十月十一日(土)鉾田市
鉾田商工会青年部主催の第十二回「商工
祭(屋台村)」が鉾田市鉾田総合公園多
目的広場内に於いて行われました。

商工祭 屋台村

伊原 奨

鉾田市鉾田商工会青年部とし
ての屋台村は、今回で最後とい
うことで、青年部のメンバーた
ちも何日も前から気合を入れて
準備をしてきたわけで、なんと
しても成功させたい。

地域の皆様の笑顔が見たい、
喜んでもらいたい、その一心で
臨んだ屋台村。
屋台、イベントコーナー、ゲ
ームコーナー、やぐらを組んで
の餅まき等大賑わいで、屋台の
クレープなどは、すぐに完売し
てしまいました。

今回は豚汁もやったのです
が、私と数人は、いつもの揚げ
物担当なので、豚汁は、鬼沢康
一君にお願いしました。

イベントでは、フアファも前
年よりも大きい物にし、だるま
落しもやってみたところ、これ
が意外と人気があり子供たちも
夢中で遊んでいました。ハンマ
ーで叩いた胸が結構飛ぶので担
当は大変だったみたいですが笑。

園児による鼓笛もとても可愛
らしいですね。小雨の中、小さ
い体で大きな楽器を抱え、一生
懸命に演奏をする姿はなんとも
言えません。

餅まきは二部に分けて行った
のですが、相変わらずの大混乱
で危険なので大人の部、子供の
部に分けました。前年などは、
子供の方に大人が入ってしまう
という事があったからです。

何はともあれ地域の方々に喜
んでもらう、それが私たち商工
会青年部の喜びでもあり楽しみ
でもあるわけで、この屋台村が
無事に開催できたことを川崎部
長を筆頭に青年部員が、一丸と
なってきたことを、私は一生
忘れることはないでしょう。

もちまき大成功

小島達也

当日は前日の準備日とはうっ
て変わって朝から大粒の雨にた
たられてしまいました。が、青年
部員の熱意のこいもあって、午
後には雨もあがり、来場者も増
え始め皆安心した事と思いま
す。

さて、来年度の商工会合併を
控え、この鉾田市鉾田商工会青
年部として開く商工祭屋台村も
今回が最後となりました。
そこで今回は青年部OB会に
も声を掛けさせて頂き、人気イ
ベントである餅まきに協賛して
頂くことになりました。

各役員がOBの方々を一件ず
つ廻りその趣旨を説明すると、
先輩方には快くOKの返事を頂
きました。この場を借りて
お礼を申し上げます。

そして当日には、多くのOB
の方々に出席して頂き、存分に
紅白餅やお菓子類をまいてもら
う事が出来ました。

協賛して頂いたものの当日出
席できなかったOBの方の餅も
部員総出でまかせて頂きました。

例年に比べ、また餅、菓子
類の量も多くなったので、来場
して下さったお客様には、大変
喜ばれたのも特に印象的でし
た。

これもひとえに、理解ある良
き先輩方がいた事と、部員全員
の屋台村成功にかける熱意が実
った証だと感じます。

来年度からは合併した新しい
形の青年部となりますが、イベン
ト事業等はまた白紙の段階です。
しかし、形は変わっても屋台
村のような地域振興に貢献でき
るような事業は、ぜひ継続して
いきたいです。

微明 発刊にあたり

青年部部长

川崎 孝康



まずは、微明が発刊出来まし
た事を広報委員会、部員、事務
局、その他各関係者の皆様に深
く感謝申し上げます。

さて平成十九年度より部長職
を拝命し二年が過ぎ、無事に部
長職を解く事となりました。部
員の皆さんも家業、そして青年



部活動に尽力を注いだものと思
います。現在、世界的金融混乱
と原材料高騰により、国家経済
の先行きも不透明感を増し続け
ています。小規模事業者の我々
におきましても、より極めて厳
しい状況にあるのではないでし
ょうか。また、市町村合併、三
位一体の改革により、経済だけ
ではなく商工会全体も大きな転
換点を迎えています。このよう
な状況の中でも、我々商工会青
年部は、日々の活動を通じ、自
らの地域の経済振興を推し進め
ると共に、家業を支えてまいり
ました。そして青年部の行事に
追われながら二年が過ぎ、部員
の皆さんには部長らしい事が出
来なかったことを改めて痛感し
ています。二年に亘り試験的実
施した「勉強会」長時間議論す
る姿を見て、経営者としての部
員達を力強く感じた事を思い出
します。また我々のメイン行事
である「商工祭(屋台村)」に
於きましても多くの先輩に多大
な協力を得、地域を賑わせ、
人々に笑顔をもたらすイベント
となった事は部員の皆さんが一
番実感しているのではないでし
ょうか。

我々小規模事業者に厳しい状
況は今後も更に続いていくと思
いますが、青年部活動がいつ
どのような形で我々の商売に繋
がっていくか分かりません。し
かしどんなに小さな情報でさ
え、しっかりとキャッチできる
心構えを常に持つて商売に生か
せるような青年部活動を続けて
行きたいと思います。

最後になりますが部長として
の責任を果たせたかと言うと疑
問が残りますが、部員、事務局
がフルカバリーして部長職を務め
させて頂いた事を今は改めて感
謝しています。ありがとうございました。

鉾田市商工会青年部 研修旅行 平沼昭彦

2月15・16日一泊二日で北海道旅行に行ってきました。部員13名事務局1名の計14名で鉾田市鉾田商工会青年部最後の旅行を満喫してきました。当初親睦委員会としては、旅行先は別の場所まで話を進めていました。しかし「北海道に行きたい！すずきのに連れて行け！」という声が多数ありみんなの勢いにも押され、北海道で決まりました。

北海道と言えば昨年の研修旅行も北海道のはずでした。しかし部長の行いが悪く？いやいや天候が悪く、乗るはずの飛行機が飛ばない事態となり、急ぎよ東京一泊という形で大した思い出もなく残念な旅行となってしまいました。（ちなみに私は参加していません。）そういった意味で昨年の悪夢を払拭し、何とか鉾田での最後の旅行を成功したいと思えました。出発3日前ぐらいは北海道の天候がとてつもない、仕事どころではなく夜も眠れませんでした。

そしていよいよ出発当日、羽田空港に到着しチェックインも終えスカイマークエアライン705便にて念願の北海道に飛立ちました。機内では、商工会朝4時半集合ということもあり、ほとんどの部員が寝ていました。

多少の温度差がありました。がしかしビールを飲みほろ酔い気分が出てきた寿司は色と艶が抜群で、味も絶品、運転手さんの一押しは本物でした。美味の余韻を残しながら、次に石原裕次郎記念館に行ってみました。お土産屋のお姉さんに歩いて15分と聞いて、よせばいいのに雪が降り続く足場の悪い中、道にも迷い30分近くかけてようやく記念館に到着しました。館内には石原裕次郎愛用のマリングッズ、愛車のベンツ、当時の衣装など広い館内に展示されていて、一通り見終わった所で集合時間となり、小樽を後にしました。

小樽を出発しバスに揺られて40分、次の目的地札幌市中央卸売市場・場外市場に到着しました。そこには、トラバガニ、毛ガニなど水槽から直接買えるお店が軒を連ね、思ったより値が張り、羨が「玉造の新網の方が安い！」と店の前で怒鳴って営業妨害をしているので、話を鶴呑みにして自分のお土産はイカ飯と蛸の頭で我慢しました。その後何人かまた寿司屋に入りビールと生寿司を堪能し、いよいよ今日の宿泊先すずきのグリーンホテル2に向けて出発しました。

市場からホテルまでは10分程度で途中、大通公園の札幌雪祭りの残骸を横目に夕方4時前ホテルに到着しました。

ホテルはすずきの繁華街のすぐ側にあり、自分達がチェックインする頃には他の団体客も着ており、ロビーは観光客で賑わっていました。

部屋は個室（でもダブルだった）で宴会まで時間があつたので、うたた寝のつもりが爆睡してしまい、その間の部員達の行動は全く分かりません。

6時近くとなり、ホテルからすぐ側の居酒屋「おおい北海道」で宴会が始まりました。あんな鍋、刺身、えびのから揚げなどを14人で完食し、2時間飲み倒しました。その後飲みに行く人、ラーメンを食べに行く人、ジンギスカンを食べに行く人、部員それぞれすずきのの夜を満喫し、札幌の夜は更けていきました。

翌朝ホテルでの朝食を済ませ、チェックアウト後部員何人かで札幌の花畑牧場の生キヤラメル直営店に行ってみました。並ぶ覚悟で行ってみるとすでに4、50人も雪の中を並んでいて、それでも40分ぐらいで買うことができました。家にもお土産でいくつか買っていきましが、5分弱で無くなりました。買うまでは「たかがキヤラメルじゃねえかよ！」と高を括つていましたが、いざ食べてみると人気の原因が分かる気がしました。（ちなみに私は1個しか食べていません。）

念願の生キヤラメルをゲットし、その後親睦副委員長推薦のラーメンを食べて、帰りの便がある新千歳空港に戻ってきました。機内では昨夜の疲れもあり、寝ている部員が多かったです。（うるさく迷惑な人も若干いました。）

羽田空港に無事到着し鉾田には7時ぐらいに帰ってきました。打ち上げの歌えもんで小樽、市場、すずきのの夜の話で盛り上がり、1泊2日の北海道旅行も事務局と部員の皆様のお陰で無事終了することが出来ました。

私はこの旅行を通じて感じたことは、鉾田での最後の研修旅

全国大会に参加して

H21年2/10(火)11(水)に掛けて福岡県「福岡Yahoo!JAPANドーム」と「JALリゾートシーホークホテル福岡」に於いて、第11回商工会青年部全国大会が開催され、部長として参加して参りました。約4800名を超える福岡ドームでの開会式には、麻生首相、二階経済産業大臣の祝辞、地元福岡の古賀誠氏や衆・参両議院の経済界の中核ともいえる方々が多数来賓として招かれました。そして我々の先輩でもある経済産業大臣政務官 村松祥史氏からもご祝辞を頂きました。その中で全青連42年の歴史の中で内閣総理大臣より祝辞を頂くのは初めての事だと聞きました。やはり商工会とは日本一の経済団体.....

体なのだ改めて自覚した開会式でした。大会顕彰授与式後に行われた主張発表大会、全国6ブロック代表者の発表は人を惹きつけて止まない青年部イズムを会場に振り撒いていました。結果は関東ブロック代表の栃木県上三川商工会青年部の羽石寛幸氏が見事最優秀賞に輝き関東の一員として鼻の高い思いをしました。初日の基調講演はバルセロナオリンピック金メダリスト古賀稔彦さんで、一本を取る柔道にこだわらざるや目標を持つ素晴らしさとそれを達成する心のあり方を熱心に伝えて頂きました。大会2日目、全国青年部長会議後に牛井の吉野家ホールディングス代表取締役社長の安部修仁氏による基調講演が行われました。ミュージシャンを目指し上京し、そこでアルバイトで入った吉野家で社長になった話でした。「批判や愚痴を言っても何もならない、勝つまでやる！だから勝つ！」と会場を一蹴。安部社長は2度に渡ると

ん底の失敗から再生し現在の吉野家を構築させた根性論を私たちに伝え、会場は「基調講演」ではなく、まさに「貴重講演」となり、皆つばを飲み聞き入りました。

時間の経過を忘れる程の内容で2日間が無事終了しました。我々鉾田市鉾田商工会青年部も今年で46年目を迎えるようとしていきます。今後も先輩方の良き伝統を継承し、私も含め後輩達には引き継いで欲しいと思えます。全青連平成20年度のスローガンは「協力同心！真の経営者を目指して」で、茨城県青連は「行動す」です。我々は青年経済人として具体的な行動目標を自分達で切り開いていかなければなりません。それにより家業を強くし家族を守り地域が必ず良くなると信じ進んで行きましょう。私は今大会に参加出来なかった部員、青年部活動に後ろ向きな部員達に、このすばらしい大会の想い出と共に伝えていきたいと思えます。

鉾田市鉾田商工会青年部部長 川崎 孝康



すずきのグリーンホテル 集合写真



求む!!

新入部員

私達と青年部活動をしてみませんか

鉾田市鉾田商工会青年部

4/2	第一回鹿行青年部役員会 (鹿嶋市商工会)
4/14	平成二十年鹿行青年部通常総会 (鉾田市鉾田商工会)
4/25	平成二十年鹿行青年部総会 (鹿嶋市鉾田商工会)
4/27	鹿行北都リーグ鉾田市鉾田商工会長杯サッカー大会開会式 (鉾田総合公園)
5/14	平成二十年鹿行青年部総会・部員研修会 (ホテルレイクビュー水戸)
6/16	第二十五回鹿行地区商工会青年部ゴルフ大会 (白帆カントリークラブ)
6/27	県青連移動常任委員会 (鹿嶋市商工会)
7/2	第四十回鹿行地区商工会青年部野球大会 (神栖海浜球場)
7/8	商工青年の主張発表会 (つくば国際会議場)
7/29	第二回鹿行青年部役員会 (鹿嶋市商工会)
9/3	関東ブロック大会千葉県「かずさアカデミアホール」商工祭 (鉾田総合公園)
10/10	第二十五回鹿行青年部大会 (潮来カントリークラブ)
10/11	鹿行北都リーグ鉾田市鉾田商工会長杯サッカー大会開会式 (鉾田総合公園)
11/9	鹿行キッズサッカー大会2008 (県立カシマサッカースタジアム)
11/22	第三回鹿行青年部役員会 (秀華)
12/4	鉾田市マラソン大会協力 (鉾田市庁舎)
12/7	NEW YEAR PARTY (アージュール鹿嶋ウエディングハウス)
1/18	鉾田市長との懇談会 (鉾田市鉾田商工会)
1/26	鉾田市長との懇談会 (フェリーホール/サンシャイン)
1/29	県知事との懇談会 (フェリーホール/サンシャイン)
2/10	第一十一回全青連全国大会 (福岡県福岡Yahoo!JAPANドーム)
2/15	16 青年部研修旅行 (札幌方面)
2/18	コミュニケーションイベント (行方市「玉造B&G海洋センター」)

市長との懇談会

真家 吉貴

平成二十一年一月二十六日、鉾田商工会館において市長との懇談会が行われました。

この青年部事業も今年で四回目を迎える内容も益々充実してきている様に思われます。今までは、我々青年部員が質問し、それに市長が答えるという形式をとっていましたが、今回はその逆でまず市長が話をし、それから疑問に思ったことを部員が質問するという前向きな形式で懇談会が行われました。

「我々青年部員からいくなか質問があり、前回までとは違った盛り上がりを見せる懇談会となりました。直接市長とお話できる機会を頂き、皆何か感じるものがあったのではないのでしょうか。また鉾田市として何をしているのか今まで見えていなかった事も見えてくると思えました。大変貴重な時間を過ごせたと思えます。」

初めに市長がお話ししてくださったのは、農産物のPRについてです。市内の数ヶ所に看板を立てたり、鉾田市の特産物で（メロンやイチゴ、さつまいもなど）お菓子やお酒を作ったりしているという事でした。そして県内以外でも、ラジオやローカルテレビなどに出演したり、デパートの地下食品売場で直接お客様に鉾田市の農産物をPRするなど、少しでも鉾田市を知ってもらおうと務めているそうです。



また、鉾田市は下水道の普及率が県内でも下位の方なので、それについてもお話ししていただきました。これらの話について、



長峰 雄一

「婚活」という言葉を最近よく耳にする。結婚適齢期の未婚の男女が、お見合いパーティーに参加したり、結婚相談所に登録して自分の希望に合った異性を紹介してもらったりする、「婚活」ならぬ「婚活」。その数がこのところ急増しているようだ。

現在、日本では様々な問題を抱えている。少子化問題もそのひとつ。我々自営業者にとっても他人事ではないだろう。このまま人口が減っていけば、お客さんが減るのはもちろん、従業員も確保できなければ、後継者問題も浮上してくる。すぐにでも解決しなければならぬ問題だろう。

と、堅い話はここまでにして、平成二十一年一月十八日、鹿嶋市にありまますアジュール鹿嶋において、鹿行地区商工会青年部連絡協議会主催のNEW YEAR パーティーに参加してきました。

今回で三回目をむかえた当パーティー。私自身は二回目の参加ですが、前回はこう言ったら失礼かもしれませんが様子見？お見合いパーティーとは何ぞやというのを体験するにとどまり、カップルにはなれませんでした。今回こそはと鼻息も荒く、背水の陣の覚悟で今回のパーティーに臨みました。



パーティー会場に着いてまず驚いたのが、女性参加者の方が多いこと。婚活がブームであることを感じた。それともうひとつ、前回に比べてかわい子が多くなった。これ本当に涙が出るくらいうれしかった。思い出されるのは前回のパーティー。ここはサファリアパークかと思うくらいバラエティーに富んだラインナップに、私のモチベーションが下がったことは言うまでもない。そりゃカッパルにもならないわけだ。しかし今回、サクラなんじやないかと考えてしまいうくらい綺麗どころが多く集まった。いやがおうでも期待が高まる。おそらくパーティーの間、私の鼻の下は伸びっぱなしだっただろう。

おっと、字数が制限されているのでパーティーの内容をくわしく書けないので最後に一言。「少子化問題解決!!!」

鉾田市マラソン大会 勢子雅晴



寒さが厳しくなった十二月七日、本年も例年通り鉾田市マラソン大会において、商工会青年部によります豚汁無料配布を、旭・大洋・鉾田の三商工会合同でおこないました。

昨年同様千四百食、いや、今年度は千四百食用意することになりました。その理由は「参加して、このマラソン大会を盛りあげてくれた全員に配布したい。」という事で前述の千四百食とあいなりました。

さて、前日六日夕方七時より仕込みを始めた訳ですが、昨年よりも大量に増えるとなると、何をどうする、各青年部で材料を持ちよったので何をどのくらい用意したのかわからない。

ましてや我が部員たちも（旭・大洋ともに）一部の部員を除いて包丁、ましてや皮むき器なんて表裏の区別もつかない有様。昨年の記憶はどこへいったのやら、ともかく二十数名の

部員達によって準備が始まりました。山積みとなった大根。コンテナいっぱいの人参、長ネギにゴボウ、豆腐にコンニャクなどなど。ため息が出るほど積まれた材料を、あつちで大根こちはゴボウと、さすがはイベント慣れた部員達です。淡々と黙々とこなしていきます。あれほどあった材料も二時間程ですっかり鍋の中。程なく準備を終え仕込みは終わりました。そしていよいよマラソン大会当日。昨年ほどではないにしても朝六時、やっぱ寒い。天候にも恵まれてまさに豚汁日和の予感。会場に着くなり鍋に火を入れ他の部員を待ちます。程なく皆集まり、早速味噌汁。ですが、ちよつと薄い。味噌が足りなくなってしまうあわてて買足し。刻々とスタート時間が迫りますが無事に間に合い完成しました。先にスタートした小学生が

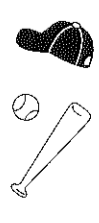
次々とゴールしてきました。今度は我々がスタートする番です。どんどん列ができてきます。「温かくて美味しい。」そんな声が聞こえてくるとこっちもにんまりしたくなります。部員のマラソン参加も例年通り。しばし人手が足りなくなりましたが、何とかピークもやり過ぎし本年の豚汁配布もまた大成功に終わりました。そのうち商工会青年部が鉾田マラソンの風物詩になる日もくるのかなと思います。来年も頑張らしましょう。

商工会野球部 飯島達也

商工会青年部野球部のキャプテンとして、二年目のシーズンが終わりました。選手全員、全力で戦った結果今年度も鹿行の予選大会で、敗戦致しました。

私は商工会青年部に入り、六年経ちますが入部当初は、県大会の常連として名を挙げていたが、ここ数年は、他の商工会青年部もチームのレベルを上げてきています。我々の野球部も他の青年部に劣ってはいないと思えますが、ただ何が足りないのかは、自分でもいまいち理解していません。

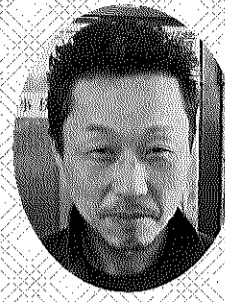
来年度は、商工会合併の年でありますが、野球部も大洋・旭青年部と合同のチームとなり参加することになると思っています。来年度こそは、予選を勝ち抜いて県大会もしくは、その上の関東大会まで勝ち進めれば嬉しいことだと思えますので、引き続き皆さんの協力をお願い致します。



卒業おめでとうございます



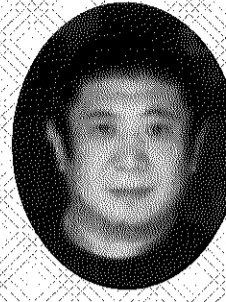
久保田 豊
久保田 石材店



鬼沢 正司
アサヒ自動車工業



山口 公史
大野 屋



土井 喜宏
土井 製作所

卒業にあたり

久保田 豊

自分が、青年部に入部したのは二十一才の頃でした。工場仕事をしていたら、突然、勧誘に連れて「野球やっていたんだよねー」「はい。」「今、ガラス屋の主にハンコもらってきたところだから、これにハンコ押ししてね。」「はい。」「と、こんな感じで入部しました。当時、商工会も青年部も存在

すら知らず、どんな活動をしているのかも知らない、まちゃんの仕事は、妹さんが同級生で知っているだけで、親しく付き合いがある訳でもなく、なんで、即答しハンコを押ししたのか？不思議です。

多分「野球に来てくれれば良いから」とも言われたので、草野球チームへの入部的な感覚で入ったと思います。

こんな感覚でしたので、定例会等、すぐ出席する訳も無く数ヶ月過ぎました。そんななか、街中を車で走っていた時、雨の中イベントの準備をしている人が、目に入りました。「大変そうだなー、何のイベントだろう？こんな雨の中必死で、何を作っているんだろう？ん？あれ？今居た人、見たことある先輩だ！」そうなんです、後日開催される商工祭の準備をしていたのです。本来なら、自分も参加しなければならぬ事なのに、他人事で申し訳ないと思いついた。それからです。例会に顔を出すようになり、知って

例会に初めて行って、知っている方も少ないので、ただ後ろの方で座っているだけ、そして例会終了、「帰ろうかな」と思っていると、今日は、「新入部員歓迎会だ」と声が上がります。ひよっとこに連れて行かれました。

そこで、皆さんより声をかけて頂き、より親しくさせてもらい、飲みニケーションの素敵さを知りました。

ご存知のとおり、歓迎会とはその場の口実で、毎度会議後、集まりの度に行われている事ですが、自分は、この場が好きになり毎回会議・行事に出席するようになったと思います。

参加日数が増えるに連れ、気の合う先輩や面倒を見てくださる先輩方も増えてゆき、週末など、プライベートでお付き合いしていたり、中学・高校と運動部で、一つ上の先輩は怖い存在で、二個上の先輩は神様でしたので縦の繋がりは、付き合い辛いものと思っていました。ですが、青年部に入って繋がりが出来、楽しく過ごす日々も増え、入部して良かったなと思えるようになりました。

前記のように、なんとなくの入りから二十数年が経ち、振り返って、青年部のメリットを考えると、やはり、仲良く

させて頂く方が増えていった事だと思えます。

今思うに、仲良くお付き合いさせて頂く五割以上の方が、青年部活動からの繋がりで知り合った方々だと思えます。

よく、青年部に入っても商売上や売り上げに結びつくメリットがないので入部しないと聞くことがありました。実際、業種によってマチマチですし、同業者もいるので、売り上げのメリットは少ないと思います。ですが、以前にも述べたように、人との繋がりが増えると思うので、何れかは、商売に繋がると思えますし、また、商人の集まりなので、業種は違えども、他の方の売り上げや年商などに気になり、「負けていたらんねーな」と、奮起できる所だと思っています。

また、融資や、経営等アドバイスが貰える所でもあります。

商工会青年部は、間もなく合併し、部員も増え人と繋がる機会が増えると思えます。是非、人との触れ合い・繋がりを大切にして商売のメリットをみてほしいと思います。

最後に、青年部に入学して、部長職まで就かせて頂き感謝しております。就任中部長の仲間たちには大変お世話になり、協力して頂き、数多くの行事の成功と楽しい日々を与えて頂き、とても感謝しております。

そして、今まで支えて頂き、また、自分を育てて頂いた先輩部員・OB・商工会事務局様大変お世話になりました。御陰様をもちまして、とてもメリットのある部員生活を送り、卒業することが出来ると思っています。

楽しかったです。

嬉しかったです。

ありがとうございました。

二十一年間の思い出

鬼沢 正司

自分が青年部に入部したのは二十歳の時、今の銚田市長、鬼沢平氏が部長の時でした。入部した頃は、青年部活動をほとんどした記憶が無く、同級生の前部長、久保田豊君と先輩達にお酒の飲み方や、色々な遊びを教わっていたような気がします。

青年部活動を振り返って見ると「スキーバスツアー」「家族親睦バーベキュー」「親睦旅行」と色々ありますが、中でも一番思い出深いのは、新町、本町通りを歩行者天国にして行っていた「銚田フェスティバル」今では青年部の一大イベント「商工祭屋台村」です。

皆、仕事が忙しい中、準備に頑張る、当日は子供達やお客様が沢山来場してくれて、イベントをやり終えた達成感があり、とてもいい思い出です。

青年部は、色々な商売をやっている集りなので、仕事の悩みなども、お客様の立場になって相談に乗ってもらえたり、色々な面でプラスになり、今の自分に役に立っているのは間違いありません。

今後の青年部活動も大変だと思いますが、銚田市の為、自分達の為に皆で力を合わせて頑張ってください。

最後になりますが、商工会青年部に入り皆と活動出来た事、沢山の仲間が出来た事に感謝します。

二十一年間ありがとうございました。

新入部員紹介



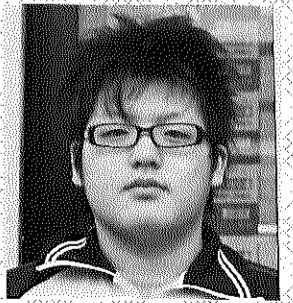
澤幡 雄介
(有)澤幡青果

商工会青年部での活動を通して、色々な事を勉強させて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。



平塚 里和
(株)平塚建設

銚田市の発展に、微力ながらお手伝い出来ればと思ひ、入部いたしました。



長峰 和弘
(有)ナガミネ

青年部を通して、様々な事を学んでいきたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。

編集後記

青年部の合併に伴い、今回が銚田商工会青年部広報委員としては最後の広報誌「微明」となりました。今年で二十九号になります。今年で二十九号になります。今年で二十九号になります。

来期からは、大洋・旭青年部員との合併で部員数が増えます。「微明」が更によりよい広報誌になる様に、力を合わせて頑張っていきたいと思っております。

来期も、広報委員会をよろしくお願ひ致します。(順司)